

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし 県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町1572

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp

vol.14

2022年11月

政策実現!!

令和4年6月定例会で、障がい者の就労支援として提案した、「分身ロボット オリヒメ」の活用が、早速実現しました。

この「オリヒメ」は、子育てや単身赴任、入院など距離や身体的問題によって行きたいところに行けない人のもう一つの体として、距離も障害も乗り越えるためのロボットです。また、この分身ロボットを活用して、障がいがある人が自宅に居ながら働くことが出来ます。全国では既に活用されており、佐賀県では初めて、障がい者の新たな働き方として試験運用が行われました。



佐賀さいこうフェス
(10月22日、23日)



障害者福祉施設販売会
「笑顔 de さいこうマルシェ」
(10月27日、28日)

令和4年9月定例会 総務常任委員会

9月1日(木)～22日(木)まで開催されました。

サイバー犯罪への人材育成を!

質問 今議会に報告された県警のサイバー犯罪への対応についてお尋ねする。

答弁 (佐賀県警 生活安全部 サイバー犯罪対策課長)

令和3年のサイバー犯罪の検挙件数は84件。また、相談件数は934件で、前年より167件増加している。各警察署から選抜した警察官に研修を行い、警察大学校での専門的な教養に参加させたり、最先端の専門企業に派遣し、より高度な技術的知見の習得を行っている。また、「サイバー事案対処能力検定」を全職員に実施している。そして、高度な専門的資格を有する人材の特別採用や、情報技術の採用枠を設けた採用試験を行っており、引き続き人材育成・登用を行っていく。

女性警察官が活躍できる環境を!

質問 本年は佐賀県警が女性警察官の採用を始めて30年の節目となる。近年注目されている女性警察官の活躍や職場環境についてお尋ねする。

答弁 (佐賀県警 警務部 警務課長)

佐賀県警における女性警察官の割合は10.5%であり、九州1位の割合である。また、佐賀県警の女性幹部の割合は5.4%であり、これは全国1位の割合となっている。そして、育休取得率は8.6%であり、今後は30%まで引き上げたい。ワーク・ライフ・バランス含め、ハード面ソフト面含めた配慮を行い、女性職員が一層活躍していただける環境づくりに努めていく。

その他の質問項目

- 佐賀空港のオスプレイ配備について
- 公務員の定年延長について



令和4年9月定例議会 決算特別委員会

9月26日（月）～10月7日（金）まで開催されました。
県土整備部・地域交流部の担当として質問に立ちました。



○鳥栖市内通学路の更なる安全対策を!!

答弁（県土整備部 道路課長）

今回、鳥栖市内の道路整備について、特に「交安法指定通学路の整備状況」について質問しました。そもそも、「交安法指定通学路」とは「交通安全施設棟整備事業の推進に関する法律に基づいて、市町の教育委員会、交通管理者と道路管理者の協議によって、特に交通安全を確保する必要がある道路として候補路線の選定を行い、国により指定されている通学路」の事を指します。鳥栖市内では約16キロの通学路のうち、残りは、県道鳥栖田代線の1.5kmと、県道肥前麓停車場線の0.1kmとのこと。

計画通りの整備が進んではいませんが、早急に進めていただきたい事業です。県からは、通学路の交通安全対策の一層の必要性や、歩道整備、カラー化、防護柵設置などに取り組んでいくとの答弁があり、更なる整備を求めました。

その他の質問項目

- 県東部地域の道路整備について
- 治水対策の推進について
- 多文化共生について
- パラスポーツの環境整備について

活動報告写真

7月

大分県警鑑識科学センター



県議会総務常任委員会の視察で訪問。科学捜査研究所と鑑識課が同じ施設に設置されている先進的な取り組みを視察させていただきました。

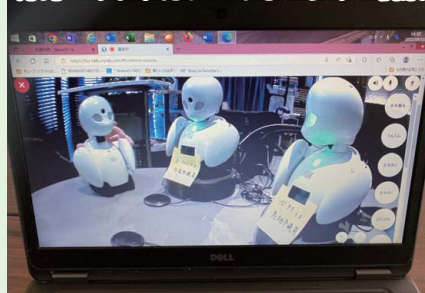
土曜夜市



土曜夜市待ってました！と言わんばかりに多くの人で賑わいました。このままコロナが終わる事を望むばかりです。

8月

分身ロボットカフェのオンライン視察



障がいがある方々が、ロボットを通してカフェで働いています。「孤独」を解消するという会社のテーマに大いに賛同。

鳥栖空襲慰霊祭



119人の尊い命が奪われた鳥栖空襲。このことは未来に語り継がなければなりません。今年もお参りさせていただきました。

9月

西九州新幹線試乗会



武雄温泉駅と長崎駅が23分で繋がったことは驚きでした。新しい地域のあり方を県を挙げて推進しなければいけません。

鳥栖北小学校運動会



3年ぶりに来賓を招待されたとの事でした。子供達の成長する姿には感動します。

あとかき

先日、ある経営者とお話させていただきました。その会社では企業内託児所で育った子供達が、時を経て自分の会社に就職されているとのこと。

懇談中も赤ん坊の鳴き声が社内に響き、笑顔が耐えない職場でした。「命」への感謝が働くことの原動力に繋がっているという人としての原点を見つめ直す機会をいただきました。寒い季節に突入しますが、季節を感じながら過ごしましょう。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwmAn>

【討議資料】